

これも学習マンガだ！



こんにちは。「これも学習マンガだ！～世界発見プロジェクト～」事務局です。

夏休みがやってきました！

子どもたちにとっては、思いっきりマンガが読める
チャンス到来なのではないでしょうか？

「これも学習マンガだ！」は、2017年度の選出作品発表に向けて
これからどんどん盛り上がっていきます！ どうぞよろしくお願ひします。



＼第3回選書委員会が開催されました／



5月19日に、「これも学習マンガだ！～世界発見プロジェクト～」の2017年度選書委員会を開催しました。

2015年にスタートした本プロジェクトでは、一般的エンタメ作品の中からこれまでに150作品のマンガが選ばれ、「文学」や「多様性」など多彩なテーマの新しい世界を発見できるマンガや、学びにつながるマンガを推薦してきました。

3年目となる今回の選書委員会では、選書委員が作品への想いを存分に語り、白熱の議論を行いながら“学べるマンガ”を選定しました。選書委員には、今回より“ホリエモン”こと堀江貴文氏が加わり、今までとは一味違う作品も選ばれているかも…？

今回の選書作品は、2017年秋頃に発表する予定です。
ご期待ください。

<2017年選書委員>※敬称略

里中 満智子 マンガ家／マンガジャパン代表（選書委員長）
 佐渡島 庸平 株式会社コルク 代表取締役社長
 中村 伊智哉 慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授
 藤本 由香里 明治大学 国際日本学部教授
 細田 尚子 株式会社MANTAN 「MANTANWEB」編集長
 本山 勝寛 日本財団バラリンピックサポートセンター
 山内 康裕 マンガナイト代表／レインボーバード合同会社 代表社員
 ヤマダトモコ マンガ研究者／米沢嘉博記念図書館
 由利 耕一 元マンガ編集者
新任 堀江 貴文 SNS media&consulting株式会社ファウンダー



2017年度 全国図書館大会／図書館総合展でお会いしましょう！

●2017年度図書館大会（東京大会）10/13（金）午前
 第5分科会「図書館資料としてのマンガ」にて、
 「これも学習マンガだ！」事務局長／選書委員 山内康裕が
 当プロジェクトについてスピーチ予定

●2017年度図書館総合展 11/7（火）～9（木）
 キハラ（株）ブースにて
 「これも学習マンガだ！」コーナー設置予定

詳細は決定次第、WEBサイト (<http://gakushumanga.jp/>) や
 Twitter (@mng_edutainment) 、Facebook (@gakushumanga) にて
 告知いたします

ぜひお立ち寄り
ください！



◀昨年度の図書館総合展
 「これも学習マンガだ！」
 コーナー

館内のマンガコーナーづくりに
ご活用ください！

印刷物無料配布中



公式ハンドブック
[A5版]



ポスター [B1版]

※チラシ・A1ポスターは在庫切れ

ご希望の印刷物の種類・数・送付先をご記入の上、
gakushumanga@ps.nippon-foundation.or.jpまで
 ご連絡ください。

2017年3月現在全国300館以上の図書館で
 「これも学習マンガだ！」をご紹介いただきました

各館工夫を凝らした展開の様子は
 Webページ内「活動アーカイブ」でご覧いただけます



▲東海大学付属札幌高等学校
 メディアセンター



▲長野県 千曲市立戸倉上山田中学校

～マンガで学べるあれやこれ～

いわゆる「学習マンガ」ではないエンタメマンガの中にも、知恵や学びがぎっしり詰まっています。

マンガは時に教科書となってくれて、例えば歴史について楽しく学べたり、

憧れの職業の舞台裏を見られたりと、授業では教えてもらえないことを学ぶこともできるんです。

今号では「これも学習マンガだ！」事務局に寄せられた“マンガで学んだ”エピソードをご紹介します。

元祖・学べるエンタメマンガ?
『あさきゆめみし』も
たくさんの学校で
活躍しています



進路を学ぶ

『銀の匙』



福岡県糸島市立福吉中学校
司書 守山知子さんより

自然豊かな場所柄、農業高校に進む生徒も多いので、『銀の匙』は購入しています。このマンガの影響で、「仕方なく」「何となく」ではなく、自ら望んで進学する生徒も増えました。農業を学ぶことに希望を持てたことは、とても大きなことだと思います。

©荒川 弘／小学館

生き方『3月のライオン』

神奈川県の高校生
Sさんより



自分から逃げてはいけないこと、正面から向き合って自分を信じて闘うことを学びました。自分が嫌い、わからないと思う人は、自分と向き合うヒントをつかめると思います。

クラブ活動を学ぶ 『ちはやふる』

長野県立高校の
司書 Fさんより



『ちはやふる』をきっかけに、県内の複数の学校で百人一首部が立ち上がり、全国高校総合文化祭に出場すべく健闘していると、担当の先生から聞きました。

社会課題『風の谷のナウシカ』

神奈川県立高校の
司書 Hさんより



有機化学の授業で、『風の谷のナウシカ』を使って環境問題について説明されている先生がいます。腐海は放射線物質で汚染された世界を表しているので、エネルギーや環境汚染を考えるきっかけになっています。

その他にもこんな声が！ マンガが学校の中で活躍しています◎

- ・『ハルロック』は他の高校図書館司書にもオススメしています。本校では、作中に登場する“猫ツイッター”的制作方法が掲載されている電子工作の資料も所蔵しています。できれば小中学生にも読んでもらい、工業への魅力を感じてもらいたい作品です。
- ・本校（工芸高校）の生徒にとっては、マンガは読むだけでなく、クリエイトの対象なのです。図書館に今はまだ、資料としてのマンガが十分揃っていないと感じています。
- ・農業科出身の校長先生が『銀の匙』を全巻揃え、生徒との話題にしています。
- ・校歌の作詞を大和和紀先生がしています。生徒に自校の校歌のルーツを知ってもらうために、図書館で『あさきゆめみし』や『はいからさんが通る』をコーナー展示しています。
- ・マンガを借りる生徒をみていると、マンガからマンガのノベライズ版に移行する傾向が見られます。

司書さん
インタビュー

大切なことはマンガから学んだ



神奈川県立大師高等学校
図書館司書
佐橋はるなさん

《続ぎが気になるマンガ》
《あげくの果てのカノン》
《ALL OUT!!》
《ごはんのおとも》

父の蔵書の手塚治虫作品を読んで育ちました。

『リボンの騎士』『火の鳥』の他、子どもには早いと言われそうな作品もバリバリ読破。その中の一つ『アポロの歌』は、大切なのは愛だ、という本質を学んだ性教育マンガでした。

高校時代、図書館にマンガはありませんでしたが、図書委員だった私は、当時家族でハマっていた川原泉作品を、カウンター内私設図書館で図書委員仲間に貸出していました。そこから定時制の生徒とも交流が生まれるなど、マンガはコミュニケーションツールだと学んだ体験でした。

司書になりたてのころ、新採研時にマンガを活用している学校図書館を知り、生徒に寄り添う資料提供と、マンガはおまけではなく必要な蔵書だということを学びました。

採用から20年、この先もマンガからたくさん学んでいきたいと思っています。



▲大師高校図書館の
マンガコーナー

